

学校再編に関する住民意見交換会 概要

- ・日時 平成29年8月19日（土）10時～12時15分
- ・場所 新治小学校体育館
- ・市出席者 内田教育長、豊田教育部長、中村総務部長、十枝企画財政部長、
総務課 岩瀬次長（総務課長）、菅谷補佐、
企画政策課 吉田補佐、近藤係長、
学校教育課 鈴木課長、村澤主幹、平井主幹、野口係長、
教育総務課 久我次長（教育総務課長）、川崎補佐、東間係長、沼
- ・一般参加者 89名
- ・他参加者 教育委員1名、審議会委員5名

【10:00開会】

- 川崎補佐 : 資料確認、開会
- 内田教育長 : あいさつ
- 久我次長 : 新治小に関する学校再編案を説明

【10:20質疑】

- 発言者1 : 使用校舎を本納小にした理由をお聞きしたい。児童の環境が最優先ということだが、校舎の老朽化や安全面などを考えたときに、後ろに山がある本納小にするのはなぜか。
- 久我次長 : 将来的に本納、新治、豊岡の3校を統合することを見据え、現在の余裕教室数を勘案し、新治小では入らない、まずは本納小を使うとなっている。
安全面について、耐震化の工事は全校終わっている。しかし立地条件等を考え、本納小を長く使うのではなく、中学校に近い別のところに新設すべきという意見を審議会でもいただいている。
- 発言者1 : 豊田小との統合という話もあったようだが、確かにそちらの方が近い人もいる。親御さんの気持ちや共働きが多くなってきたことも考え、個人的な選択肢として検討していただければと思う。
- 久我次長 : まずは統廃合の方向性を決め、住民や保護者の意見を聞きながら学校の選択についても柔軟に検討していきたい。
- 発言者2 : 学校の統廃合によって、茂原市にどういった経済的影響があるのか。国や県では、人件費が小学校2校を1校にすると数千万円、3校を1校にすると億の規模で削減されるという話もあるが、市にはあまり影響がない。スクールバスなどを整備すればむしろ費用がかかり、金銭的なメリットはないと思うが、そういった面の検討はされているか。
- 久我次長 : 審議会では財政効果の質問もあったが、市の費用がいくら減るというような資料は提示していない。逆にスクールバスなど費用がかかるかもしれないが、あくまで教育環境という視点で審議していただいております、財政効果のために統廃合するものではない。
- 発言者2 : 自治会の立場から、児童の安全性は最優先にしていきたい。市の財政や施策もあるが、将来を担う子どもたちを犠牲にしてまで行うものではない。
子どもの教育環境ということはわかるものの、自分たちの地域は自分たちで守る、良くするという考えの中、まちづくり条例では小学校を核とするので、その点は心配である。
9年間の実施計画で前期後期と分かれるということだが、今後の施設整備も踏まえ、具体的な統合の時期について伺いたい。
- 久我次長 : 9月に審議会から答申を受け、10月か遅くとも11月には実施計画を作る。いつ統廃合するかについて、基本計画では「速やかに」としており、教育委員会事務局としては、現在行われている両校の交流をさらに深めながら、第1次実施計画の4年以内に行いたい。

- 発言者 2 (大沢) : メリットデメリットで切磋琢磨とあるが、社会性は学校規模によるのか疑問である。また、ないとは思いますが、国からの予算を確保するために統廃合が行われないよう望む。
- 発言者 3 (吉井) : 校名は別として、新治小を使うことは検討できないか。5月にあった本納中の説明会で、本納の住民でも、新治に行くという選択肢もありという人が多いと聞いた。バードウォッチングなども行っており、環境は新治の方が良い。
- 久我次長 : 審議会で新治小を使う話もあったが、プールなどはきれいな一方、グラウンドが手狭という点もある。また、将来的な3校統合を見据えれば、いま増築するよりも、収容できる本納小を使うという案である。野鳥観察などは、統合の次の話になってくる。
- 発言者 3 (吉井) : 新治分館を壊すのであれば、そこをグラウンドにするのも可能ではないか。合併はやむなしだと思うが、総合的な環境を見ると新治のほうが良いと思うので、検討いただけるよう要望する。
- 発言者 4 (大沢) : 豊岡まで含めた合併はいつになるのか。現在の本納小をいつまで使うのか、保護者は気になると思う。
- 久我次長 : また、場所がどこになるのか。豊田小や富士見中も考えたが、みんな一緒に本納小に行けて、新しい校舎で頑張れるならそれも良い。しかし、送り迎えすることもあるので、今の本納小より向こう側とかあまりにも遠いと難しい。子ども園の場所も未定だが、建設中の公民館も含め全て近くにあると、とても便利だし子どもたちも安心できると思う。
- 久我次長 : 子どもは新治小に楽しく通っているが、もっと友達がほしいと思うので、速やかな合併をお願いしたい。しかし、本納と新治の合併までで止まることのないよう、3校統合の時期や場所を明確にしていきたい。
- 久我次長 : 建設予定地はまだないが、中学校との連携を考え、本納中の近くあるいは敷地内という考えはある。3校統合の明確な時期は、実施計画で第一段階の時期を決めてからの検討になる。
- 発言者 4 (大沢) : なお、認定こども園の場所は、事業者が探すということで進めている。
- 久我次長 : 本納中もかなり人数が少なく、適正規模でないと思うが、将来どうなっていくのか。
- 久我次長 : 確かに本納中も人数が少なくなるが、審議会では本納地区から小中学校をなくすのは受け入れられない、本納中は維持するという意見である。
- 発言者 4 (大沢) : 子ども園、小中学校、公民館、全て近くにあると良いと思う。子どもたちが楽しく過ごせるようにお願いしたい。
- 発言者 5 (上太田) : 新治小の環境は非常に良いので、新治分館の場所に校舎を建てて、新治小を守り、統合の拠点としていただきたい。
- 発言者 6 (桂) : 確かに新治小は少ないが、圏央道のインターができ、今後工業団地も住宅団地もできれば人口が減ることはないと思っている。そういうことも含め、教育委員会だけでこのことをやってきたのか、行政側も一緒にやってきたのか。
- 十枝企画財政部長 : 本納地区の人は、何で本納小に来るの、危ないよと言う。(校舎が)できてから統合すればよい。説明会も本納中でなくまず新治小でやるべきだった。総合的に判断していただけるのか。
- 十枝企画財政部長 : 審議会では子どもたちのことを考えた案が示されており、行政側もそれをバックアップしていく考えでいる。
- 十枝企画財政部長 : いま言われたような人口が増える要因もあるだろうが、現段階では見えてこない部分が多いので、教育委員会が示した推計によって統廃合を進めるものと考えている。
- 発言者 6 (桂) : 仮に統合したら4キロから5キロ近く歩くことになるが、いかに安心安全を確保するのか。集団登校するのであれば、1時間、1時間半前に出なくてはならないが、その点お聞きしたい。
- 十枝企画財政部長 : 他のところで、5～6人になってやっと統合したというニュースも聞いた。少ない人数での教育は先生方の努力だと思う。学校がなくなればなおさら若い

- 人が住まなくなってしまう。地域を守るためにも、もっと年数をかけて、何回も住民の意見を聞いて、ゆっくり方針を決めていただきたい。
- 内田教育長 : まず、説明会を本納中でなく新治小でやるべきだということについては、基本計画は対象校があるわけではなく、市全体の方針を定めたものなので、市民室と本納中で実施した。
- 学校再編について、教育委員会としては子どもたちの教育環境の充実、中でもある程度の人数の確保を中心に考えている。安全も大事なので、スクールバスは必ず整備して安全を確保する。
- 時間をかけてということだが、一方で先ほど速やかにという意見もあった。新治小は複式学級が存在する規模。教育環境としてある程度的人数は絶対に必要だと考えているので、複式学級は速やかに解消していきたい。
- 発言者 7 (上太田) : 行政と住民の隔たりがあるのではないかと思う。今回は説明会で、今回は意見交換会だが、こう決まったので協力してくれという一段階進んだ形と考えてよいのか。
- 久我次長 : 今回は決まったことの説明ではなく、今日の意見を受けてさらに審議しようとする、途中段階のものである。
- 発言者 7 (上太田) : 私は新治小を存続したいが、PTAの意見を聞くと、仕方のないところまできているのかなと思う。
- 圏央道のインター、工業団地など、新治地区かどうかはともかく人口増の要素はある。本納ニュータウンはやっと実現しそうだという段階にある。そういうことを踏まえて統廃合を考えているのか。それを見極めた上での話であれば仕方ないと思うが、いつになったら推計に入れてくれるのか。
- 久我次長 : いにはる工業団地と本納ニュータウンは加味していない。工業団地は現段階の雇用計画がわからない状況。本納ニュータウンは、平成5年頃からの計画がやっと動き出したが、当初600戸がいま230戸くらいで、これから県の認可を受け造成するので相当時間がかかる。そんな中で、まずはいまの子どもたちの状況を良くするという視点で考えている。
- 発言者 7 (上太田) : 将来新治の人口が増えても本納に通うと考えてよいのか。地域には学校や病院などいろいろなものがあってまちづくりができる。学校がなければ住まないという人もいる。人数が増えたときに再開するような考えはあるのか。
- 久我次長 : 不確定要素が多すぎる話だと思う。いつから分譲し、子育て世帯がどのくらい入るのか、どのような住宅地を目指すのか。審議会には意見として出す。
- 発言者 7 (上太田) : 新治小は避難所になっているが、学校を廃止したら何に使われるのか教えてほしい。
- 中村総務部長 : 跡地や建物については、まだ統合が決定していないので今のところ具体案はない。将来的に公共施設全体を縮小しなければならない状況にあるので、総務部で検討は始めている。避難所はどういう形にしる必ず確保する。
- 発言者 7 (上太田) : 小学校5～6年生なら4キロ歩けるが、1年生は大変。歩道も整備されていないところがある。統合が仕方ないとなっても、バスが整備されないと困るので、そこはしっかりお願いしたい。
- 久我次長 : 審議会では、スクールバスの整備は必須であると考えている。
- 発言者 8 (大沢) : 家から本納小まで最短でも5.5キロ、安全な道を選ぶと7.3キロあった。繰り返しになるが何としてもバスは整備してほしい。
- 久我次長 : 審議会だけでなく、教育委員会としてもスクールバスは必須と考えている。他市町村の例を見ても、スクールバスは珍しいことではない。
- 発言者 9 : 新治小の校舎が建ったとき、当時の校長が、もし増えたら足せるように作ってあると言っていた。新しく建てるより経済的に良いのではないか。
- 久我次長 : 将来的には豊岡小も統合し適正規模にしたいというのが審議会の意見。実際に学校も見た上での案なのでよろしくお願いしたい。
- 発言者 10 (上太田) : 前回の説明会で、小規模の学校のメリットをなくさないでほしいとお願いしたが、全く反映されていない。社会性や切磋琢磨とはなんなのか、少人数では

- できないことなのか。子どもたちの教育が第一というならば、どのような環境が良いのか具体的にお願いしたい。
- 久我次長 : いまは3人とか5人とかであり、限界があるのではないかと。3人だと席替えすらできない（しなくても良いとの声）。様々な意見を交わすことも難しい。小規模がなぜ悪いのかと意見があった旨は審議会に出す。
- 発言者10（上太田） : もし統廃合するなら、小規模校のメリットをどう活かしていくのかお聞きしたいということ。
- 久我次長 : 新治小では野鳥観察とか地域との関わり合いなど、非常に良くわかる。すでに本納小との交流もやっているの、その良さを活かすのも検討していく。
- 発言者10（上太田） : 子どもたちの教育のためなので、ぜひお願いしたい。
- 発言者11（大沢） : この案が一人歩きしないよう、総合的に茂原市、新治地区を考えていただいて、これ以上マイナスにならないように取り組んでいただきたい。慎重に審議していただいて、皆さんが納得できるような案を作っていただきたい。
- 発言者12（桂） : 保護者として、避難所になりえない場所に行かせるのは心配なので、統合と同時に新設した方が良いのではないかと。
 スクールカウンセラー等の配置について、検討ではなく約束してほしい。
 学校がなくなって地域の過疎化を止める具体案を聞かせてほしい。
 未就園児への周知が不十分。郵送するなどしてほしい。
 1学年3人とか5人とかというのは大きな問題だと思うし、子どもを通わせづらいというのが正直なところ。
 崖が安定しているのは平常時の話で、災害時を考えると理由にはならない。
 本納、新治、豊岡はどれも校舎が古いと言っているが、新治小は新しいと言っているのはよくわからない。
 他市の事例も参考にしながら、効率的な施設管理、ファシリティマネジメントを考え、積極的にこの問題を解決していただきたい。プールだって民間活用しても良い。
 2040年になればまた相当子どもも減るので、さらに統合ということにならないよう慎重に考えていただきたい。
 今日の意見が9月の意見交換会にどれだけ反映されるのか。遅くとも11月までに策定するのであれば、いまから大きく変わらないと思う。子育て世代は、出席したくてもできない方も大勢いらっしゃるの、例えば子どもを遊ばせるスペースを設けるとか、もっとたくさんの方に関心を持ってもらえるような対策をいろいろ考えていただきたい。
- 久我次長 : 審議会に出していく。過疎化については学校によるものではなく、企業誘致とか対策をしておき、市全域で減少しているわけではない。PRについては非常に難しいが、いろいろな手法をとる。
 学校再編は今年で終わるものではなく、人口推計をその都度実施しながらずっと続くものと考えている。
 官民連携については、給食センター建設でPFIを採用したり、市民会館で住民とワークショップをしたりしており、十分対話をしながら進めたいと考えている。
- 発言者13（柴名） : 審議会に諮問して9月には答申されとのことだが、5月の説明会以降の審議会の動きについて会長さんにお伺いしたい。
- 中山学校再編審議会会長 : 教育の問題は非常に大切ということは、審議会委員も今日お集まりの皆さんも同じ考えだと思う。今日の意見でなるほどと思うこともいくつもあったし、果たしてできるのかという疑問もあった。
 今日は皆さんの意見を聞くこと、理解することに努めてきた。若い人と年を取った人の考え方の違いは、あって当然だと思う。しかし、世の中の変化を感じて、時代に合うように考えを向け、変えていかなければならないこともある。例えば子どもの数はガクッと減り、そうなった時に教育はどうあったら良いのか考え直さなければならない。教育委員さんだけが考える問題ではなく、お集

まりの皆さん方一人ひとりが考えて、その時代にあったものを模索していくのが大事である。

説明会でも意見交換会でも内容は大きく変わらず、良いものを考えようということ。宿題や言うだけではダメで、言ったことに皆さんが責任を持つ。そして次回の集まりの時に、審議会委員がどう考えたのか、それと比べればはつきりすると思う。

この問題は1日2日でできる問題ではないが、子どもたちは毎日成長していくのだから、何年も延ばすわけにはいかない。拝聴した皆さんの意見をこれからの審議会に活かしていきたい。

発言者13 : 5月28日以降に審議会は何回開催したのか。

(柴名)

久我次長 : 審議会は2回開催している。

発言者13 : その時に地元の気持ちとか、子どもたちの気持ちとか、いろいろな意見が出たと思うが、今日の答弁だとあまり反映されていない、合併ありき統合ありきで意見交換会を進めていって、時期を少しずつ延ばしながらと考えているのではないか。

(柴名)

もう1つ、本納小と新治小を統合すべきという中で、まずは子どもたちのことを思うというのは同じだが、安全面を考えたときに、スクールバスが一体どこに止まるのか、実際に皆さんで現場を確かめていただいているのか。父兄の方も自治会の方も、新治という環境をみんなで守るという気持ち、新治から茂原を元気に、地域を元気にという思いなので、実施計画の中にこの声がどこまで反映されるのか伺いたい。

久我次長 : 5月は基本計画の説明会だったが、今日は具体的な案を示しており、少しずつ進んでいる。今後、スクールバスの乗降場所などについても1つ1つ進めていく。

【12:15閉会】